

2010年第1四半期決算説明資料

2010年7月29日

川崎汽船株式会社

A. 2010年度第1四半期決算概要

- A-1 第1四半期決算概要
- A-2 上期・通期業績予想
- A-3 業績変動のポイント

B. 部門別業績動向

- B-1 コンテナ船
- B-2 不定期専用船 - ドライバルク
- B-3 不定期専用船 - 自動車船
- B-4 不定期専用船 - エネルギー資源輸送・重量物船事業

A. 2010年第1四半期決算概要

A-1. 第1四半期決算概要

(単位:億円)

	2010年度 1Q実績	2009年度 1Q実績	増減額
売上高	2,538	1,919	619
営業損益	231	▲ 221	452
経常損益	206	▲ 227	433
当期純損益	158	▲ 149	307
為替レート	¥92.81	¥97.50	▲¥ 4.69
燃料油価格	\$475	\$304	\$171

09F1Q ▲227億円 ⇒ 10F1Q 206億円(+433億円)

(単位:億円)

		2010年度 1Q実績	2009年度 1Q実績(*)	増減額(*)
コンテナ船	売上高	1,123	862	261
	経常損益	89	▲ 200	289
不定期専用船	売上高	1,184	861	
	経常損益	117	▲ 42	
その他	売上高	231	196	
	経常損益	7	15	
調整額	売上高	-		
	経常損益	▲ 7		
合計	売上高	2,538	1,919	619
	経常損益	206	▲ 227	433

(*)参考値 09年度1Q実績は旧セグメント数値。一部区分が異なるが損益比較での影響は軽微。

【前年同期比 為替変動：4.69 円高 ⇒ ▲5.2 億円 / 燃料油価格変動：\$171高 ⇒ ▲81 億円】

＜前年同期比＞ 増収(619億円)・増益(433億円)

- ・コンテナ船の需給改善に伴う運賃修復
- ・ドライバルク市況の回復、自動車船の荷況改善

＜公表前提比＞ 増収・増益

- ・コンテナ船運賃修復が想定上回る
- ・ドライバルク市況が1Q期前半は堅調

A-2. 上期・通期業績予想

(単位:億円)

	2010年度			2009年度			前期比 増減額	10年度期首公表	
	上期	下期	通期予想	上期	下期	通期実績		上期	通期
売上高	5,050	4,800	9,850	4,005	4,376	8,380	1,470	4,700	9,500
営業利益	420	150	570	▲ 425	▲ 96	▲ 521	1,091	170	320
経常利益	360	120	480	▲ 499	▲ 164	▲ 663	1,143	140	260
当期純利益	250	70	320	▲ 433	▲ 255	▲ 687	1,007	110	180
為替レート	¥88.90	¥90.00	¥89.45	¥96.12	¥89.96	¥93.04	▲¥3.59	¥90.00	¥90.00
燃料油価格	\$475	\$500	\$488	\$353	\$459	\$407	\$81	\$500	\$500

事業部門		2010年度		
		上期	下期	通期
コンテナ船	売上高	2,280	2,100	4,380
	経常損益	200	10	210
不定期専用船	売上高	2,315	2,250	4,565
	経常損益	170	105	275
その他	売上高	455	450	905
	経常損益	10	25	35
調整額	売上高	0	0	0
	経常損益	▲ 20	▲ 20	▲ 40
合計	売上高	5,050	4,800	9,850
	経常損益	360	120	480

【配当計画】

年間配当5.5円(中間配当2.5円)

⇒ 2Q決算公表時に下期業績予想と共に見直し

【収支前提】

為替レート前提 2Q 85円 下期 90円

バンカー価格前提 2Q \$475/MT 下期 \$500/MT

【変動影響】

為替変動: 1円増減⇒±9億円

燃料油価格変動: \$10/MT変動⇒±10億円

A-3.業績変動のポイント

<変動要因>

- ・コンテナ船の運賃修復進行
- ・鉄鉱石輸送需要堅調(1Q)、自動車荷動きの回復

<対前年同期比>

1Q :増収(+ 619億円)・増益(+433億円)

上期:増収(+1,045億円)・増益(+859億円)

損益変動要因	10F1Q実績 前年同期比	10F上期見込み 前年同期比	概況
為替変動	▲ 5	▲ 11	円高 10F1Q ▲¥4.69 / 10F上期 ▲¥7.22
バンカー変動	▲ 81	▲ 117	燃料油高 10F1Q +\$171/MT 10F上期 +\$122/MT
市況変動	329	660	コンテナ船の運賃回復が進む
営業規模	172	262	コンテナ・自動車の荷況改善
コスト変動	43	19	—
関係会社	17	33	—
その他	▲ 42	13	—
合計	433	859	

B. 部門別業績動向

B-1. 部門別業績動向

コンテナ船

＜10F1Q実績＞ 前年同期比 増収・黒字転換 / 公表前提比 増収・増益
 欧米向けに輸送需要が回復・増加
 運賃修復達成

＜今後のポイント＞
 欧州の金融不安の影響・米国の景気動向が懸念材料

		2009年度					2010年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q実績
売上高(億円)		862	921	906	950	3,640	1,123
経常利益(億円)		▲ 200	▲ 271	▲ 155	▲ 44	▲ 670	89
運賃推移 08年1Q=100	北米往航	71	66	70	79	-	92
	欧州往航	46	61	76	97	-	105
積高(万TEU)	北米往航	15.9	18.0	16.8	16.0	66.8	16.9
	欧州往航	11.1	12.1	10.3	9.9	43.4	12.6
スペース(万TEU)	北米往航	17.9	18.4	17.4	16.6	70.2	17.0
	欧州往航	12.3	12.5	10.7	10.5	46.1	13.1
消席率(%)	北米往航	89%	98%	97%	97%	95%	99%
	欧州往航	90%	97%	96%	94%	94%	96%

* 運賃推移・消席率については、通年は平均値、輸送量・スペースは累計値

B-2. 部門別業績動向 - 不定期専用船 ドライバルク



＜10F1Q実績＞ 前年同期比 増収・増益 / 公表前提比 増収・増益

2010年1Q稼働延^{トシ} 56 百万^{トシ} (前年同期比 +13%)

鉄鉱石・穀物輸送需要が市況を牽引

大型船市況は6月以降調整局面入り、中小型船市況は引続き堅調

＜今後のポイント＞

足元弱含んだ鉄鉱石輸送需要の回復時期

市況は季節的要因を含む調整局面を経て、後半にかけて徐々に回復を予想

バルク市況	2009年度					2010年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q実績
ケープ(170型)	\$46,000	\$40,500	\$53,000	\$30,600	\$42,500	\$40,000
パナマックス(74型)	\$16,000	\$18,500	\$27,000	\$27,250	\$22,200	\$29,200
ハンディ(53型)	\$12,500	\$15,000	\$20,500	\$21,500	\$17,500	\$27,100

(*)2009年度までは太平洋ラウンド。2010年度より4T/C Average。

B-3. 部門別業績動向 - 不定期専用船 自動車船

<10F1Q実績> 前年同期比 増収・黒字回復 / 公表前提比 増収・増益

輸送台数: 75.4万台 (前年同期比 +95%増)

全般的に荷動きは回復傾向。欧米向けは緩やかも新興国向けは堅調。

<今後のポイント>

全般的には引き続き緩やかに回復基調。

欧州での金融不安・ユーロ安の影響は注視が必要。

		2009年度					2010年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q実績
輸送台数 (千台)	往航	140	185	251	226	802	240
	復航/三国間	150	153	258	247	809	311
	欧州域内	96	115	117	188	517	203
	合計	386	454	626	661	2,127	754
当社船隊規模	隻数	84	86	82	78	-	83

B-4. 部門別業績動向 - 不定期専用船 エネルギー資源輸送・重量物船事業

【エネルギー資源輸送】

<10F1Q実績> 前年同期比 増収・赤字幅縮小 / 公表前提比 増収・赤字幅縮小

【LNG】 長期契約は順調に稼動も短期傭船市況低迷

【油槽船】 中国向け輸送需要増を背景に大型船市況は堅調に推移

<今後のポイント>

【LNG】 短期傭船はしばらく軟調傾向

【油槽船】 2Qは全般的に軟調傾向も下期以降緩やかに回復を見込む

油槽船市況 (WS)	2009年度					2010年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q実績
VLCC(中東/日本)	35	35	50	93	53	87
Aframax(南方/豪州) ※	60	60	80	127	82	116
クリーン7万トン型(中東/日本)	63	83	110	130	97	118

(※)2010年より南方/豪州に変更。2009年までは南方/日本。

【重量物船事業】

<10F1Q実績/今後のポイント> 前年同期比 減収・減益 / 公表前提比 ほぼ見込通り

大型貨物の荷動き低調に推移

プロジェクトの進展再開を背景に商談は増加中も収支への寄与は来年度以降